



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



“しまい洗い”は、なぜ必要なの？

全身の汗腺から出る汗には塩分や尿素がわずかに含まれているだけですが、脇の下から出る汗には脂肪酸などの脂質も含まれています。脂質は水に溶けにくい汚れであるため、日々の洗濯では残ってしまうことも。少量なら目立たないですが、蓄積するとだんだん目立つように。時間が経って酸化すると、頑固な黄ばみになります。皮脂汚れも同じく残りやすいため、皮脂腺の多い首や胸元、背中が接している部分は黄ばみやすい部分ということ。これらをふまえて“しまい洗い”を実践しましょう。



暑い!とにかく暑い!お会いするお客さまと「暑いね~!」がまるで合言葉のようだったこの夏。残暑が厳しいという予報も出ているので、まだしばらくは暑さから逃れられそうにありませんね…。とはいえ、朝は日を追うごとに涼しくなり、夜風に乗って聞こえてくる虫の音にも、秋の気配を感じるようになってきました。そろそろ、夏物のお手入れについて計画し始めてよさそうです。

冬物はクリーニングに出したり、丁寧なお手入れをしてからしまう方がほとんどだと思いますが、夏物についてはどうでしょう?いつもどおりの洗濯を終え、そのままいつの間にか着なくなり、翌シーズンまでタンスの中に…というパターンが多いのではないのでしょうか。実はこれが「着ようと思って出してみたら黄ばみが…!」というトラブルの元になっているのです。洗濯によって落としきれなかった汚れや、すすぎ不足により残留した洗剤の成分など、しまう時には目に見えていなかったものが時間の経過とともに変化し、目に見える状態になって出てきたのが黄ばみです。汚れは時間が経つほど定着して落ちにくくなるため、約半年も気づかないまましまっておくのは、リスクが高いということ。そのため、お気に入りの衣類をながく着るために衣替えの時には丁寧な“しまい洗い”が必要なのです。



しまい洗いでは、①浸け置き&部分洗い②念入りすすぎ③アイロンでの仕上げがポイントに。洗濯前に浸け置きすることで、日々の洗濯で落としきれない繊維の奥深くの汚れを浮かせることができます。また、特に皮脂や汗汚れの蓄積しやすい襟・袖口・脇は、部分的にもみ洗いをしておくのがおすすめ。すすぎが足りないと、せっかく落ちた汚れがまた繊維に戻ることで、しまい洗いの時には最低2回すすぎをしましょう。乾いたあとは、汚れ残りのチェックと殺菌を兼ねてアイロンをかけて仕上げれば完璧です!

堀之内十五夜祭り 9月15・16・17日

お祭り期間中の 15日(金)・16日(土)は9:00~19:00の通常営業です。ただし、受付(お預かり・お渡し)以外の業務はお休みとなりますので、この期間の急ぎ仕上げはお受けできません。また、交通規制がかかる時間帯がありますので、車での来店にはご注意ください。17日(日)は定休日となります。



営業案内 (赤い日はお休みです)

9月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	★9
10	11	12	13	14	15	16
17	★18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

★9月9日(土)は都合によりお休みです

★9月18日(月)は9:00-17:00の臨時営業
※お休みや営業時間に変更になることがあります

服と暮らしの研究室 / ワークショップレポート

7月30日(日)に“カレーのしみ抜き体験”を、8月11日(金)には、自由研究に特化した内容でワークショップを開催しました。テキストで汚れの仕組みを学び、そのあとに学んだ内容をもとにして実践、実験を。「なるほど!」をたくさん感じていただいた2日間でした。まだまだ始めたばかりで手探り状態ではありますが、今後も季節に合ったテーマで月1回を目標に開催していきたいと思います。

自由研究ワークショップ



“洗い方のちがいによる
しみの落ち方実験”

9月のワークショップ 9月27日(水) 10:00~12:00

「洗ってしまったはずなのに…」お気に入りの白シャツを黄ばみから守る洗濯術
白さをキープするお洗濯のコツを伝授します。ピンポイント汚れを落とす実践もあり!
参加費:3,000円(お菓子&お茶付き) 参加希望の方はスタッフまで。 ※2名以上で開催